

舞鶴市内の中小企業景況調査のまとめ

今期	令和8年 1月	～3月期の実績
来期	令和8年 4月	～6月期の見通し

舞鶴商工会議所
中小企業相談所

この調査は、令和8年3月に実施した1月～3月の中小企業景況調査に係るアンケート（毎四半期実施）の結果をまとめたもので、今回の調査対象は市内の中小企業121事業所（前回121事業所）、有効回答数は89事業所（前回95事業所）で回収率73.6%（前回78.5%）でした。

業種別有効回答企業数は次のとおりです。

業 種	回答企業数	構成比 (%)
機 械 金 属 業	12	13.5
建 設 業	17	19.1
織 維 工 業	2	2.2
木 材 業	5	5.6
水 産 加 工 業	6	6.7
サ ー ビ ス 業	20	22.5
小 売 業	15	16.9
卸 売 業	12	13.5
合 計	89	100

(注) 本文のDIとは「増加」「好転」したとする企業割合から「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

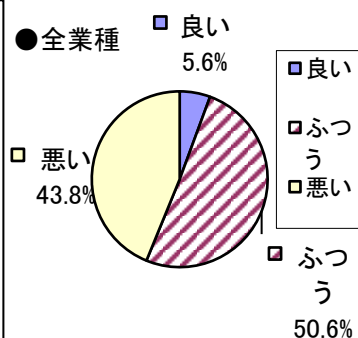
【業況の動向】

今期の業況の動向は、全業種でマイナス38.2となり、前期のマイナス29.5に比べ8.7ポイント悪化した。

業種別に見ると、繊維工業、小売業は改善した。

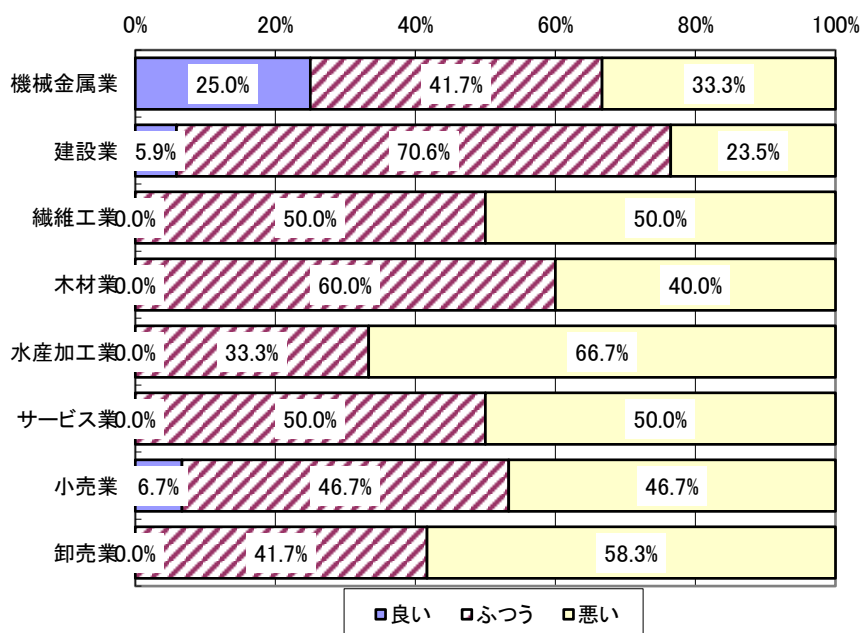
木材業は横ばいで推移した。

来期は、前年同期比でマイナス22.7、今期比でマイナス17.9となり改善する見込み。



業況DI(「良い」-「悪い」)

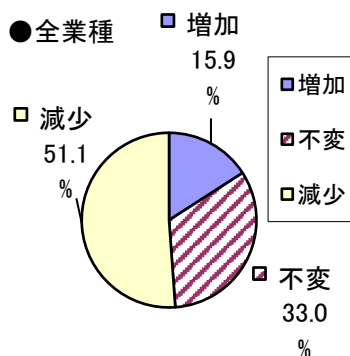
	実績 (今期の水準)					来期見通し (前年同期比)	来期見通し (今期比)
	令和7年 1~3月	令和7年 4~6月	令和7年 7~9月	令和7年 10~12月	令和8年 1~3月	令和8年 4月~6月	令和8年 4月~6月
全業種	-44.7	-36.0	-38.7	-29.5	-38.2	-22.7	-17.9
機械金属業	-57.1	-23.1	-15.4	0.0	-8.3	-36.4	-10.0
建設業	-18.8	-20.0	-18.8	-6.3	-17.6	-6.3	-5.9
繊維工業	-66.7	33.3	-100.0	-66.7	-50.0	100.0	50.0
木材業	-33.3	-50.0	-40.0	-40.0	-40.0	-20.0	-20.0
水産加工業	-83.3	-83.3	-71.4	-28.6	-66.7	-33.3	0.0
サービス業	-40.9	-42.1	-33.3	-33.3	-50.0	-19.0	-15.8
小売業	-50.0	-37.5	-43.8	-41.2	-40.0	-26.7	-42.9
卸売業	-50.0	-46.2	-58.3	-50.0	-58.3	-50.0	-36.4



【売上額の動向】

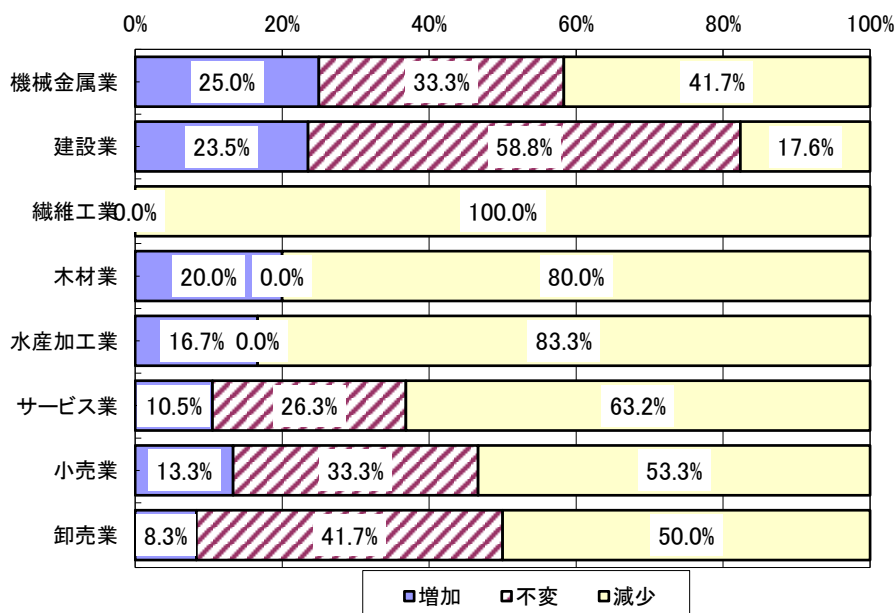
前年同期と比べた今期の売上額の動向は、全業種でマイナス35.2となり、前期のマイナス16.1に比べ19.1ポイント悪化した。来期はマイナス18.2となる見込み。

業種別に見ると、建設業は改善した。一方、機械金属業、繊維工業、木材業、水産加工業、サービス業、卸売業は悪化した。



売上額DI(「増加」-「減少」)

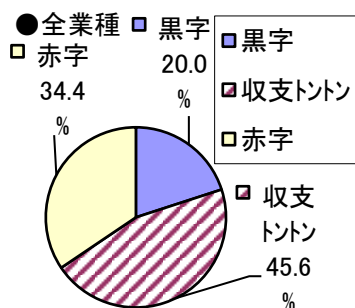
	実績 (前年同期比)					来期見通し (前年同期比)
	令和7年 1月～3月	令和7年 4月～6月	令和7年 7月～9月	令和7年 10月～12月	令和8年 1月～3月	令和8年 4月～6月
全業種	-20.2	-13.6	-17.6	-16.1	-35.2	-18.2
機械金属業	-42.9	0.0	23.1	25.0	-16.7	-27.3
建設業	-20.0	0.0	-6.7	-25.0	5.9	11.8
繊維工業	0.0	66.7	33.3	33.3	-100.0	100.0
木材業	0.0	-25.0	-40.0	-40.0	-60.0	-60.0
水産加工業	-66.7	-66.7	-57.1	-14.3	-66.7	-33.3
サービス業	9.1	-22.2	-4.8	-15.0	-52.6	-35.0
小売業	-37.5	0.0	-37.5	-31.3	-40.0	-13.3
卸売業	-25.0	-38.5	-54.5	-28.6	-41.7	-25.0



【採算(経常利益)の動向】

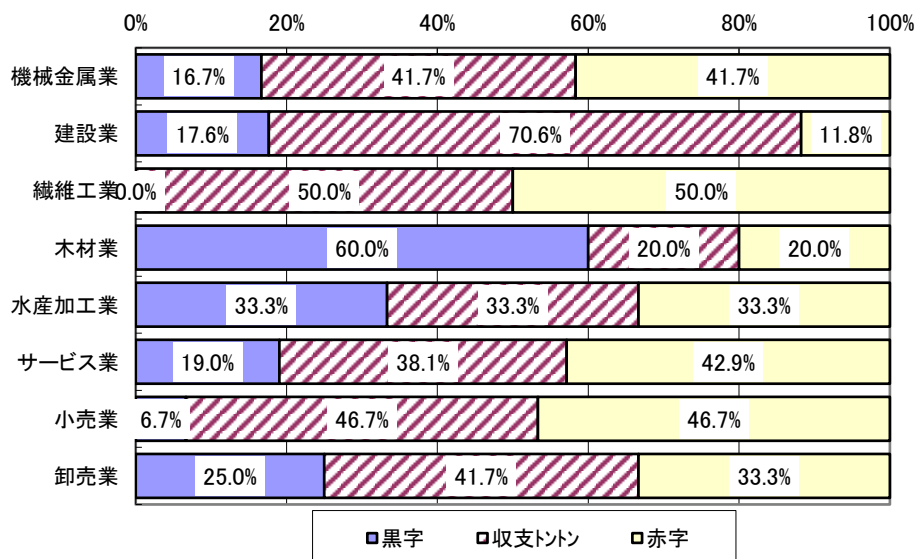
今期の採算(経常利益)の動向は、全業種でマイナス14.4となり、前期のマイナス14.0に比べ0.4ポイント悪化した。来期はマイナス21.6となる見込み。

業種別に見ると、繊維工業、木材業、卸売業は改善した。一方、機械金属業、建設業、サービス業、小売業は悪化した。水産加工業は横ばいで推移した。



採算(経常利益)DI(「黒字」-「赤字」)

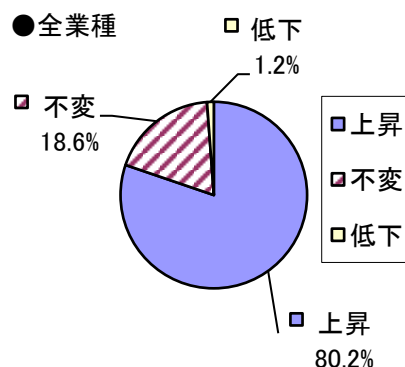
	実績 (今期水準)					来期見通し (前年同期比)
	令和7年 1月~3月	令和7年 4月~6月	令和7年 7月~9月	令和7年 10月~12月	令和8年 1月~3月	令和8年 4月~6月
全業種	-17.1	-7.9	-10.8	-14.0	-14.4	-21.6
機械金属業	-33.3	0.0	0.0	-9.1	-25.0	-36.4
建設業	-18.8	-20.0	-18.8	-6.3	-17.6	-5.9
繊維工業	-66.7	33.3	-100.0	-66.7	-50.0	100.0
木材業	-33.3	25.0	-20.0	-40.0	40.0	-20.0
水産加工業	-66.7	-16.7	0.0	0.0	0.0	-33.3
サービス業	-14.3	-15.8	0.0	-9.5	-23.8	-25.0
小売業	-31.3	-18.8	-25.0	-11.8	-40.0	-33.3
卸売業	0.0	-23.1	-16.7	-23.1	-8.3	-25.0



【材料仕入単価の動向】

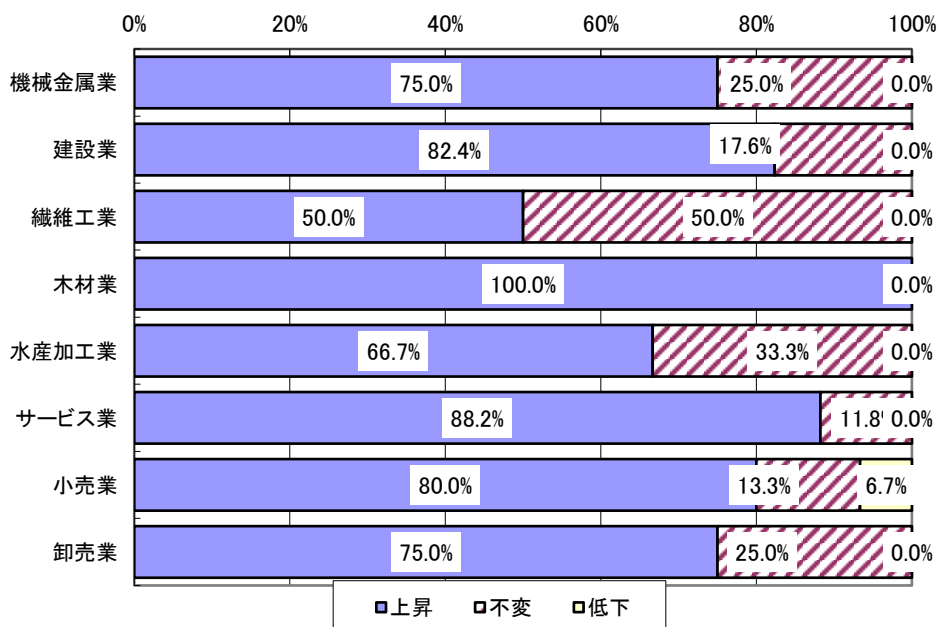
前年同期と比べた今期の材料仕入単価の動向は、全業種で79.1となり、前期の72.0に比べ7.1ポイント上昇した。来期は76.7になる見込み。

業種別に見ると、機械金属業、木材業、サービス業、小売業、卸売業は上昇した。一方、建設業、繊維工業、水産加工業は低下した。



材料仕入単価DI(「上昇」-「低下」)

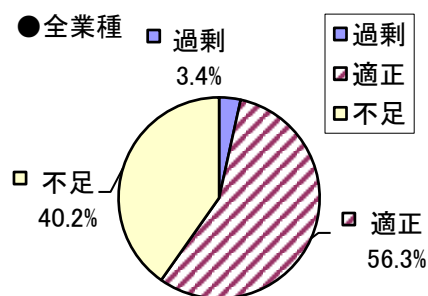
	実 績 (前年同期比)					来期見通し (前年 同期比)
	令和7年 1月~3月	令和7年 4月~6月	令和7年 7月~9月	令和7年 10月~12月	令和8年 1月~3月	令和8年 4月~6月
全業種	75.9	75.6	67.4	72.0	79.1	76.7
機械金属業	71.4	76.9	69.2	58.3	75.0	81.8
建設業	73.3	86.7	62.5	87.5	82.4	70.6
繊維工業	100.0	66.7	100.0	100.0	50.0	50.0
木材業	0.0	50.0	40.0	60.0	100.0	80.0
水産加工業	66.7	83.3	42.9	85.7	66.7	50.0
サービス業	81.0	68.8	71.4	68.4	88.2	76.5
小売業	87.5	68.8	81.3	70.6	73.3	86.7
卸売業	75.0	84.6	63.6	64.3	75.0	84.6



【雇用の動向】

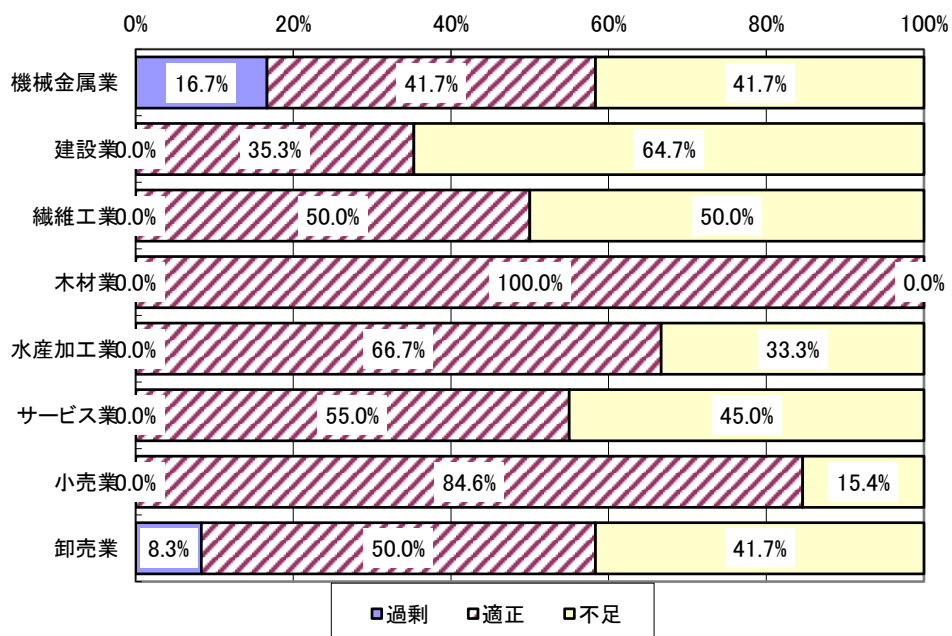
今期の雇用動向は、全業種でマイナス36.8となり、前期のマイナス35.1から1.7ポイント悪化した。

業種別にみると、機械金属業、建設業、繊維工業、木材業は改善した。一方、水産加工業、サービス業、小売業、卸売業は悪化した。



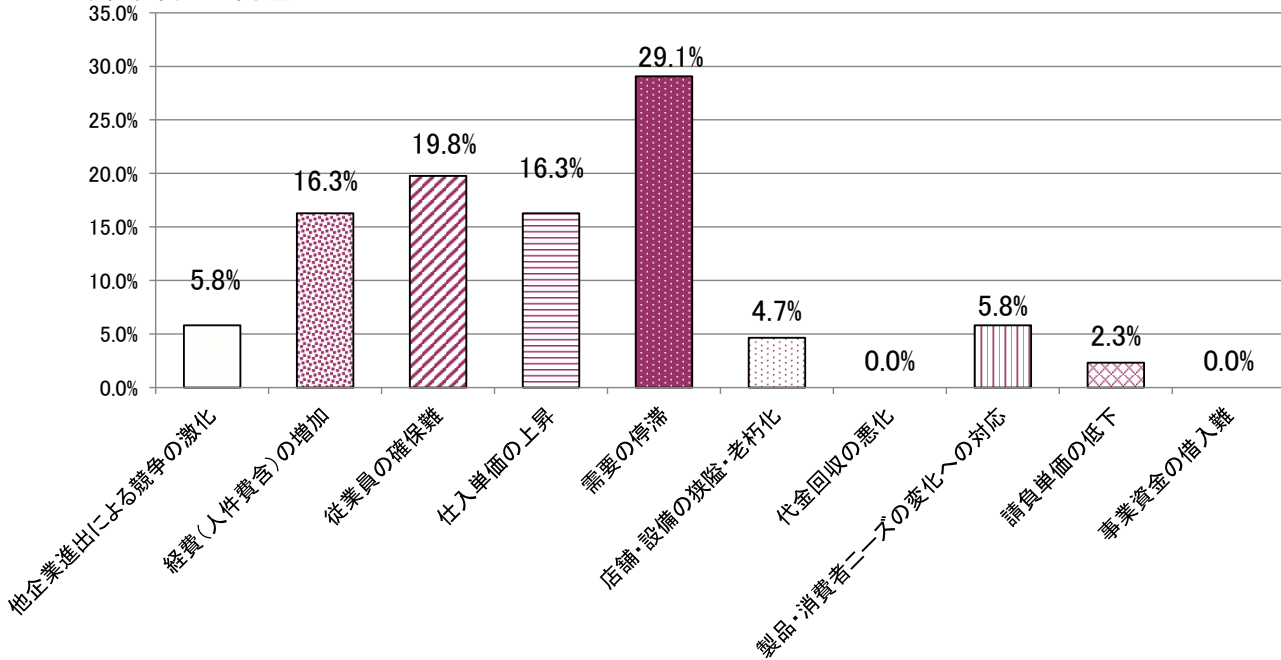
雇用DI(「過剰」-「不足」)

	実績 (今期の水準)				
	令和7年 1月～3月	令和7年 4月～6月	令和7年 7月～9月	令和7年 10月～12月	令和8年 1月～3月
全業種	-34.1	-31.8	-26.9	-35.1	-36.8
機械金属業	-16.7	-30.8	-30.8	-33.3	-25.0
建設業	-50.0	-60.0	-68.8	-75.0	-64.7
繊維工業	-100.0	-66.7	-66.7	-66.7	-50.0
木材業	0.0	0.0	20.0	-20.0	0.0
水産加工業	0.0	-16.7	-14.3	-28.6	-33.3
サービス業	-47.6	-33.3	-38.1	-38.1	-45.0
小売業	-18.8	-23.1	0.0	-6.3	-15.4
卸売業	-25.0	-15.4	0.0	-21.4	-33.3



【経営上の問題点】

●全業種経営上の問題点



●業種別経営上の問題点

機械金属業	従業員の確保難	26.7%	経費(人件費含)の増加	20.0%
			仕入単価の上昇	20.0%
			需要の停滞	20.0%
建設業	従業員の確保難	35.3%	仕入単価の上昇	29.4%
			需要の停滞	29.4%
繊維工業	経費(人件費含)の増加	50.0%		
	製品・消費者ニーズの変化への対応	50.0%		
木材業	需要の停滞	60.0%	従業員の確保難	20.0%
			仕入単価の上昇	20.0%
水産加工業	需要の停滞	33.3%	経費(人件費含)の増加	16.7%
			従業員の確保難	16.7%
			仕入単価の上昇	16.7%
			店舗・設備の狭隘・老朽化	16.7%
サービス業	経費(人件費含)の増加	35.3%	従業員の確保難	17.6%
			仕入単価の上昇	11.8%
			需要の停滞	11.8%
			製品・消費者ニーズの変化への対応	11.8%
小売業	需要の停滞	38.5%	経費(人件費含)の増加	15.4%
			製品・消費者ニーズの変化への対応	15.4%
卸売業	需要の停滞	45.5%	他企業進出による競争の激化	27.3%
			経費(人件費含)の増加	9.1%
			従業員の確保難	9.1%
			仕入単価の上昇	9.1%

参考

上位 3位の項目推移

令和7年10月～12月

①需要の停滞 29.5% ②従業員の確保難 18.8% ③経費(人件費含)の増加 17.0%

令和7年7月～9月

①需要の停滞 31.6% ②仕入単価の上昇 15.8%、経費(人件費含)の増加 15.8%、従業員の確保難 15.8%

令和7年4月～6月

①需要の停滞 28.6% ②仕入単価の上昇 25.0% ③従業員の確保難 16.7%

令和7年1月～3月

①需要の停滞 30.8% ②仕入単価の上昇 22.0% ③従業員の確保難 18.7%